

農事組合法人田尻アグリワーカーズ

平成27年に設立。環境に配慮した新たな農業のモデルづくりと、引きこもり経験の長い若者や障がい者等が活躍できる農業の職場づくりを目指している。

代表者名：佐々木 洋志
所在地：宮城県大崎市
品目：トマト、ミニトマト、なす、みずな、ほうれんそう、こまつな、ブロッコリー

面積：0.6ha
構成員：5名

取組の紹介

【環境負荷低減に資する取組】

- 「みやぎの環境にやさしい農産物認証・表示制度」及び「豊穡の大地『大崎耕土』世界農業遺産ブランド認証」を取得。生物多様性の保全が害虫の制御にもつながっており、化学農薬及び化学肥料の使用量を宮城県慣行栽培基準の半分以下に抑えた生産を実現。
- ハウスの暖房とトラクタの燃料に地域資源である廃食油(トラクタの燃料はBDF)を活用する等、設立当初から地球温暖化に配慮した農業を実践。エネルギーの地産地消にも寄与。

【効率的な生産に向けた取組】

- 土壌分析結果を踏まえ、地域資源であるもみ殻や発酵堆肥、米ぬか等を活用した効率的な土づくりを実践。

【情報伝達の取組】

- 都市農村交流等による生産者と消費者の顔の見える関係づくりや、SNSを活用した市民向けの周知等により直売比率の向上を実現。
- 消費者である生協組合員の環境学習を積極的に受け入れることにより、組合員教育や廃食油の回収促進に貢献。生産者と消費者をつなげることで、循環型ネットワークの形成にも寄与。



田尻アグリワーカーズの構成員



ハウスの廃食油暖房機



都市農村交流の様子

SNS

Facebook <https://www.facebook.com/tajiriaguriworkers/>